

# (公社) 大分県建築士会 ひた支部会報

発行：公益社団法人 大分県建築士会 日田支部  
企画編集：広報部  
文責：広報部長 秋 和夫

第6号 (平成28年09月01日発行)

## ■ 研修会の報告 ■■■

### 「熊本地震に於ける木造住宅の被害について」講演会

平成28年8月27日午後1時30分より、日田市役所7階中会議室において、大分県建築士会日田支部と日田設計監理協会の主催で、大分県建築士会会長の井上正文日本文理大学教授による「熊本地震の木造住宅被害について」報告講演会が開催されました。



(講演をする井上教授)



(講演会の様子)

熊本地震は、4月14日の前震と4月16日の本震(どちらも震度7)で、被害が拡大し死者50名・住宅の全半壊が20万件以上出てしまいました。

「前震では、損傷が軽微だった(または無かった)が、本震で倒壊してしまった」という現地調査での証言が多数得られたことから、自宅に戻った住民が死傷した可能性もありそうです。また、外観や内観は、リフォームで新しくなっているが、耐震補強についてはなされていないと思われる建物が多く観られました。

屋根の上にソーラーパネルが載っていた建物の荷重算定がなされていたかは、甚だ疑問が残るところです。今回のような想定外の地震では、ちょっとした設計者の配慮不足や、「まあいいか」というくらいの安易な考えの施工不備が人命を左右したことは間違いありません。我々のような設計や施工に携わる人間は、「大丈夫です。」と胸を張って言える仕事を追及するべきです。

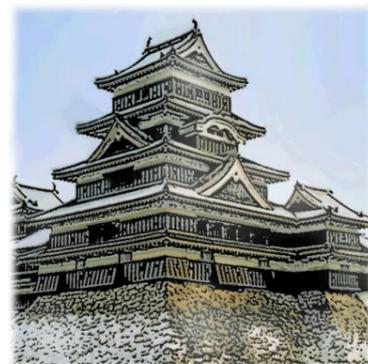
木造住宅に関しては、1950年に建築基準法が公布から、1981年に新耐震、2000年に改正基準法と法整備が行われ、木構造の耐震性が大きく向上しました。さらに、今回の熊本地震被害の課題から、さらに建築基準法が見直しされる事になります。

今後は、耐震診断や耐震補強の促進も加速することが予想されますが、耐震設計や施工段階での厳格なチェック体制や地震地域係数の見直しなど、地盤補強への考え方も変わってくるでしょう。

⇒(井上教授の講演内容より)



(挨拶をする原田氏)



日田支部からも、応急危険度判定のため、被災地に4名を派遣しました。最近では終息しましたが、その後も熊本・大分で震度3以上の余震が未だに1000回以上続いていたため、日田支部では、7月1日の「建築士の日」に耐震相談会を実施し、数十名の相談と事前の問い合わせも多数ありました。

その後も、既存家屋の耐震性について多くの相談を受けておりますが、やはり、耐震補強の煩雑さや多額の費用負担から、前に進まないようです。さらに気象庁震度階級によると、「震度7」とは、現在の階級の最上級で、揺れに翻弄され自分の意思で行動できない、耐震性の高い住宅でも大きく倒壊すると規定されています。

## ■ 青年部の役員紹介 ■■■

### ●青年部長 (1名)



櫻木弘三郎

### ●副青年部長 (3名)



後藤慎太郎



佐藤幸司



頓宮英敏

## ■ 役員あいさつ ■■■

### 吉田事業部長より

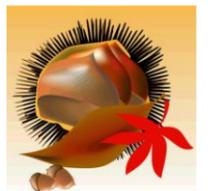
事業部長を仰せつかりました吉田です。宜しくお願ひ致します。

私は日頃施工中心で仕事をしておりますので、設計は専門の設計士の皆様にお願ひするばかりです。そんな私が平日頃心掛けている事は、設計図に書かれている事を良く理解し、より良い建物を施主様に提供する事です。大分県建築士会日田支部の皆様と共に日田市の発展に積極的に尽くしたいと考えておりますので、宜しくお願ひ致します。

そこで日田市町作りの観点から、今後最も関心の有る日田市事業について一言申し上げます。

今年度環境課に、ごみ焼却場施設の更新のための準備室が設置されました。新しい焼却場は日田市単独のもので施設の規模、焼却ごみの種類、量、性能、焼却熱の再利用等、多岐にわたる検討が必要とされ、平成35年頃の完成を予定しています。

更新する施設は市民が気軽に通える“憩いの場”とし、焼却熱を利用した温泉施設、さらに発電による売電、熱利用と井水による民間の水耕栽培と販路の拡大など多方面の発想にて、若者の働き場所を確保し、利益を上げられる施設とするべきだと思います。場所の選定等難しい問題は有ると思いますが、更新すれば30年稼働しますので、将来の日田市に大切な施設となります。十分な検討をお願いしたいところです。



### 《あとがき》

支部会報は、公益社団法人大分県建築士会ホームページの中で、支部紹介の日田支部ページにも掲載されています。

日田支部ページには、連絡事項やこれまでの活動報告など、情報が満載ですので、ぜひ、見て下さいね。(広報部長 秋より)

※日田支部のHPはこちら

<http://www.oita-shikai.or.jp/shibu/hita/>